

【修理を依頼する前に「故障かな?!と思ったら」(P.29)をご確認ください!】

修理・取り扱いのご相談は  
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店 / 販売店	〒	印
	電話 -	

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

修理のご依頼は



### 東陶メンテナンス(株)へ

☎ 0120-1010-05

受付(年中無休)  
受付時間: 関東・甲信越地区 8:00~20:00  
上記以外の地区 9:00~20:00  
訪問修理(年中無休)  
営業時間: 9:00~18:00

補修用性能部品の  
ご購入は



### TOTOパーツセンターへ

☎ 0120-8282-55

受付時間: 平日 9:00~18:00  
土・日・祝日 10:00~18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)

その他(使い方の  
お問い合わせは)



### TOTOお客様相談室へ

☎ 0120-03-1010

受付時間: 平日 9:00~18:00  
土・日・祝日 10:00~18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

再生紙を使用しています。

工事店さま  
へのお願い

貴店名ならびに据え付け引渡し日を保証書にご記入のうえ、  
お客様にお渡しください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ず  
お伝えください。

## サーモスタットシャワー金具・バス水栓 (自動水止めタイプ)

TMF47型・TMG47型  
TMJ47型・TMJ48型



安全上の注意..... 1 ~ 5  
使用上の注意..... 6 ~ 7  
各部のなまえ..... 8 ~ 9

はじめに

ご使用前に.....10~12  
つかいかた.....12~17  
凍結予防のしかた...18~21

つかいかた

日ごろのお手入れ...22~27  
定期的な部品交換のお願い... 28

お手入れ

故障かな?!と思ったら...29~31  
アフターサービス...32~33

こんなときは


保証書..... 34  
お問い合わせ先.....裏表紙

この取扱説明書は保証書付きですので大切に保存しておいてください。

# 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。




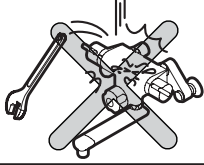

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。  
この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。




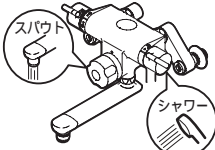
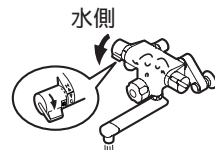
お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		指示した場所に触れないでください。
	分解しないでください。		必ず実行していただく「強制」内容です。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

 <b>注意</b>		
 <b>禁止</b>	小さいお子様だけのご使用は、避けてください。 やけど・けがをするおそれがあります。	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	給湯温度は85より高温で使用しないでください。 85より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、60 給湯をおすすめします。	

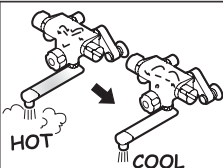
## **注意**

 <b>分解禁止</b>	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 <b>接触禁止</b>	本体左側および湯側取付脚には直接、肌を触れないでください。 給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。	
	高温の湯をお使いのときは、スパウトに直接、肌を触れないでください。 スパウトは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。	
 <b>必ず実行</b>	湯水をお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。また、スパウトとシャワーの切り替えや、シャワー吐水状態の切り替えを行ったときに、温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。	
	お使いになる前に、スパウト側かシャワー側かを各開閉ハンドルで確認してから湯をお使いください。 間違えると、やけどをするおそれがあります。	
	温度調節ハンドルの温度位置を確かめて水を出してください。 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	
	高温の湯をお使いのあとは必ず温度調節ハンドルの目盛りを“40”以下に戻してください。 次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	

### ⚠ 注意

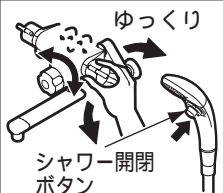
高温の湯をお使いのあとは、しばらく水を流してください。

次に使用の際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



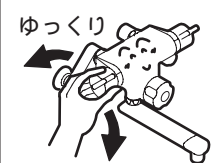
シャワー開閉ハンドルおよびシャワー開閉ボタンは、ゆっくり操作してください。

急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。



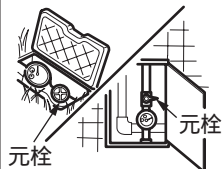
定期的(年2回)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



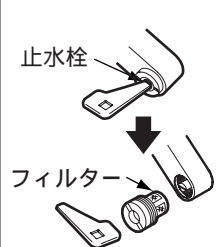
長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉めてください。

水漏れなど予想しない事故の原因になります。



フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、壁付きタイプの場合は止水栓、台付きタイプの場合は元栓を閉めてから行ってください。また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認してください。(P.23を参照してください)

湯水が噴き出して、やけどや家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

### ⚠ 注意

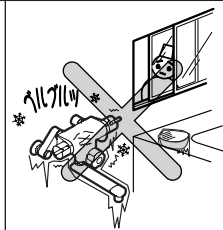
安全を確保するための逆止弁およびコマパッキンは定期的な交換をお願いします。(P.28を参照してください)

例えば、逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。



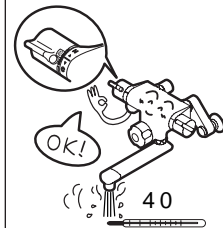
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、P.18を参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。

部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



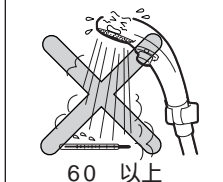
万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り“40”と吐水温度がまっているか確認してください。

凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



シャワーには熱湯(60以上)を通さないでください。

シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。安全のため、45以下でのご使用をおすすめします。



**低水圧用**  
低水圧用のため水圧が0.3MPa以上では使用しないでください。

破損するおそれがあります。



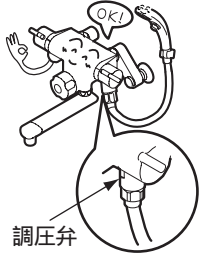
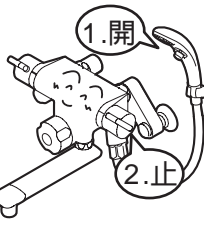

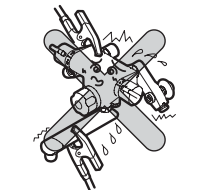

必ず実行



禁止

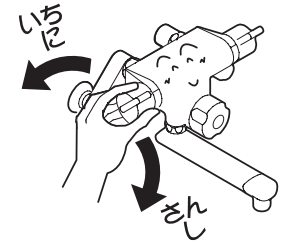
# 使用上の注意 (次のことをお守りください)

## ⚠ 注意

<p>禁止</p>	<p><b>クリックタイプ</b>                  クリックタイプのシャワーに接続されている調圧弁は外さないでください。                  調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>調圧弁</p>
<p>必ず実行</p>	<p><b>クリックタイプ</b>                  入浴が終わりましたら、必ずシャワーの開閉ボタンを“開”の状態にしたまま、水栓のシャワー開閉ハンドルで水を止めてください。                  シャワー開閉ボタンにて、長時間水を止めた場合、シャワー散水板から水漏れするおそれがあります。</p>	 <p>1.開 2.止</p>
<p>禁止</p>	<p><b>寒冷地用</b>                  水抜きコックは水抜き以外の目的で開けないでください。                  水抜きコックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>あちっ 水抜きコック</p>
<p>禁止</p>	<p><b>寒冷地用</b>                  解氷機をご使用の場合、水栓には絶対通電しないでください。                  水栓が発熱し、破損して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>必ず実行</p>	<p><b>寒冷地用</b>                  凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。                  (P.18を参照してください)                  部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>水抜きコック</p>

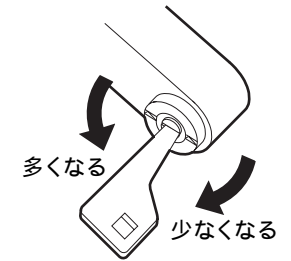
ときどき温度調節ハンドルを回してください。(月1回程度)

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。



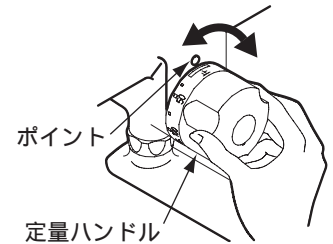
流量を極端に絞らないでください。

壁付きタイプの流量は止水栓で調節できますが、あまり極端に絞ると流量の感知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。目盛り150(約150L)のとき、少なくとも30分以内で水が止まる程度の流量でご使用ください。



120(約120L)以下に設定するときは、↺印以上回してから設定してください。

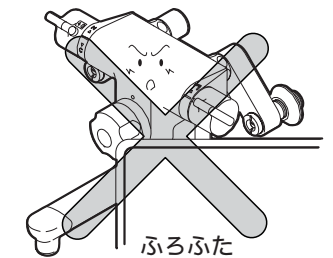
湯量を120(約120L)以下に設定するときは、必ず定量ハンドルを↺印以上回してからご希望の目盛りに戻して合わせてください。そのまま120以下の目盛りに合わせますと、自動止水しないことがあります。



自動吐水時は定量ハンドルの自動回転を妨げないでください。

自動吐水時は定量ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。

動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。(ふるふたなどが定量ハンドルに当たらないようにしてください。)

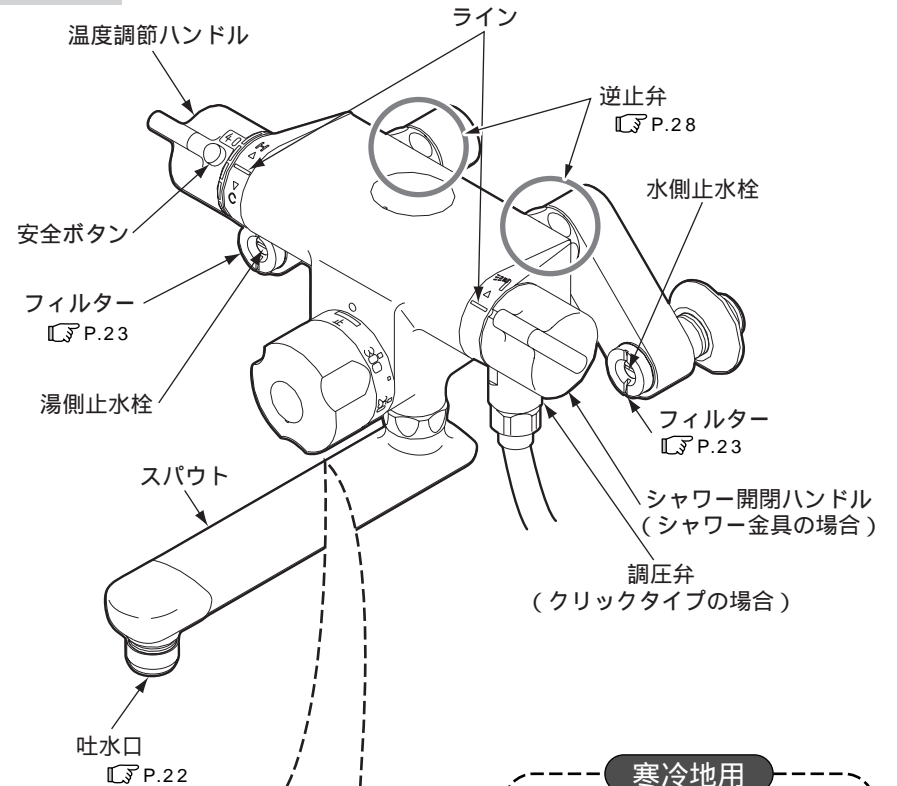




# 各部のなまえ

## TMF47型・TMG47型・TMJ47型

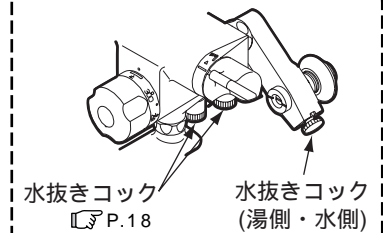
### 壁付きタイプ



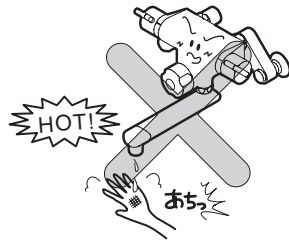
### 定量ハンドル

- ・希望湯量の目盛りに設定すれば、その量だけ水を出し、自動的に止まります。 (P.15)
- ・さし湯、さし水など通常の開閉ハンドルとしても使用できます。 (P.13)

### 寒冷地用



誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。



シャワー吐水のハンドルを閉めたあと、シャワーからしばらく水が垂れることがあります。これはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。

数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。

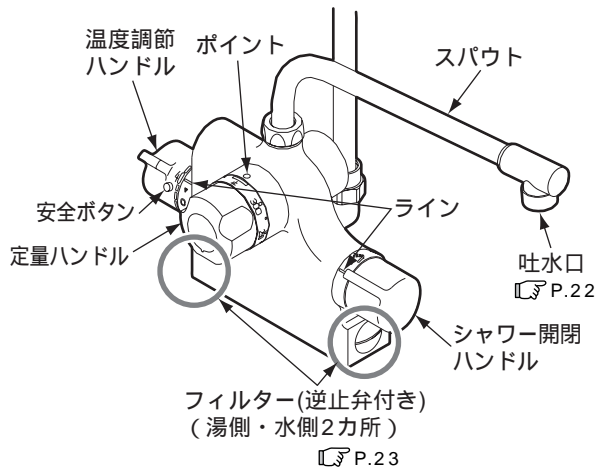


品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

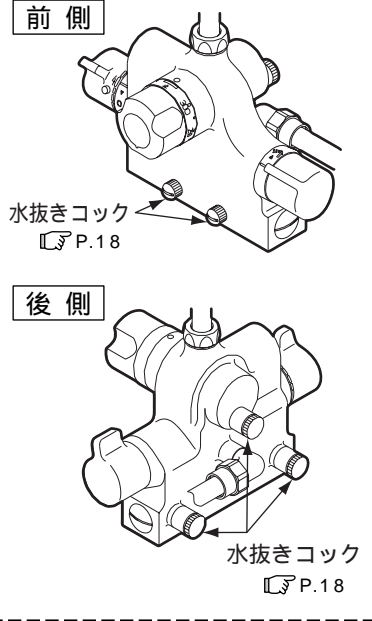
# ご使用前に

## TMJ48型

台付きタイプ



寒冷地用



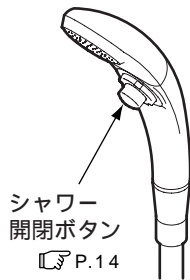
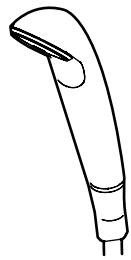
## シャワーバリエーション

スプレー

クリック

マッサージ

低水圧用

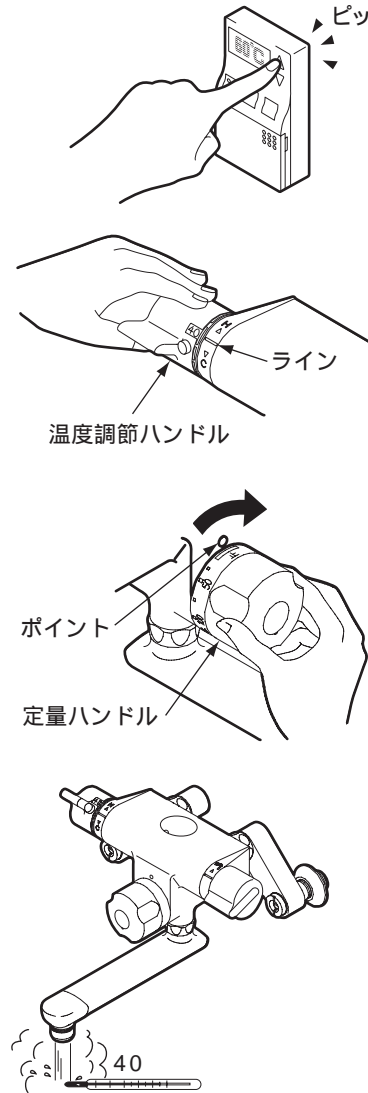


クリックシャワー・マッサージシャワーのつかいかたはP.14の「シャワーのつかいかた」を参照してください。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。



### 1 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10以上高く設定してください。

### 2 温度調節ハンドルの目盛り“40”をラインに合わせる。

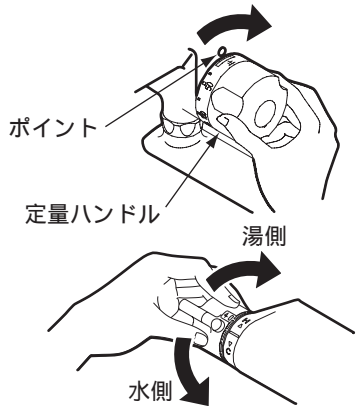
### 3 定量ハンドルを時計回りに回す。 スパウトから水が出ます。

### 4 吐水温度を確認する。

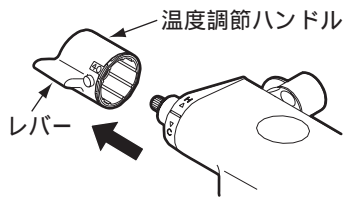
吐水温度が適温(およそ40)であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、P.11を参照し、設定し直してください。

## 温度調節ハンドルの設定

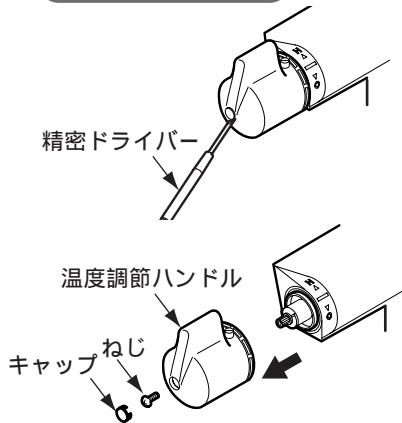
吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。



### ワンタッチ式の場合



### ねじ止め式の場合



1. 定量ハンドルを時計回りに回す。

スパウトから水が出ます。

2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り“40”付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

3. 温度調節ハンドルを外す。

### ワンタッチ式の場合

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。

### 豆知識



ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷がつかないようにレバー部を軽くたたいてください。

### ねじ止め式の場合

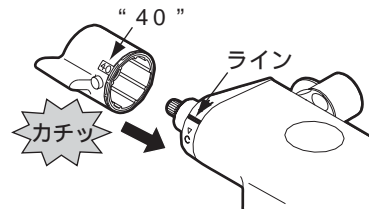
温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

### 豆知識

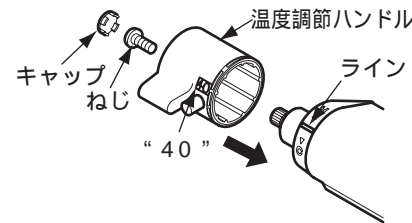


キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

### ワンタッチ式の場合



### ねじ止め式の場合



4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

### ワンタッチ式の場合

目盛り“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

### ねじ止め式の場合

目盛り“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み、ねじで固定してキャップを取り付けてください。

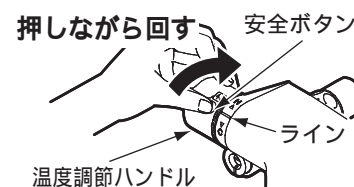
5. 固定後に40の湯が出ているか確認する。

## つかいかた

### 温度調節のしかた



### 安全ボタン



温度調節ハンドルを回す。

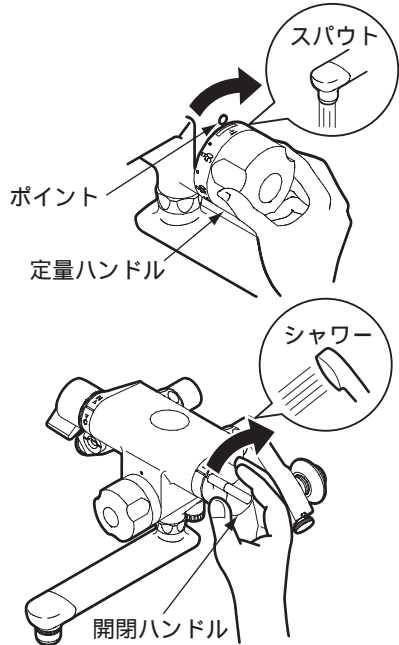
目盛り“40”を目安とし、好みの温度をラインに合わせてください。

40以上の湯を出すには

安全ボタンを押しながら回す。

安全ボタンを押して高温を使用された場合は、ハンドルを必ず目盛り“40”以下に戻しておいてください。

## 水(湯)を出す



### スパウト

#### 定量ハンドルを時計回りに回す。

定量ハンドルを時計回りに回し、ご希望の目盛りをポイントに合わせてください。120以下の目盛りに設定するときは、一度 ←印以上回してから戻して設定してください。

ハンドルの数値がおよその湯量を示します。(例：150 = 150L)  
設定位置については一度湯をためてみて、浴槽の適量を確認してください。

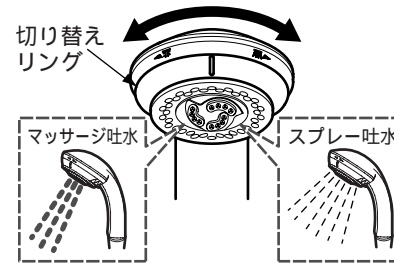
### シャワー

#### シャワー開閉ハンドルを上に戻す。

水が出ます。また、上いっぱいに戻すと流量が最大になります。

## シャワーのつかいかた

### マッサージ



#### 切り替えリングを回す。

マッサージ吐水、スプレー吐水の2つに切り替えられます。

### クリックタイプ

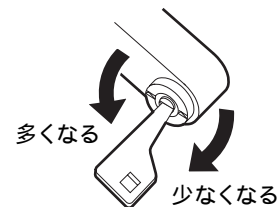


#### シャワー開閉ボタンを押す。

シャワーを一時的に止めることができます。入浴が終わりましたら、必ずシャワー開閉ボタンを“開”の状態にしたまま、水栓のシャワー開閉ハンドルで水を止めてください。

## 止水栓による流量調節 (壁付きタイプの場合)

開閉ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。

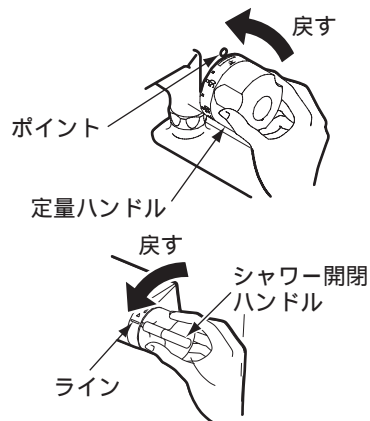


#### 止水栓の流量調節ねじを回す。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

流量を極端に絞らないでください。あまり極端に絞ると流量の感知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。  
目盛り150(約150L)のとき、少なくとも30分以内で水が止まる程度の流量でご使用ください。

## 水(湯)を止める



### スパウト

#### 定量ハンドルの目盛りがポイントの位置で「止」になるまで戻す。

水が止まります。

### シャワー

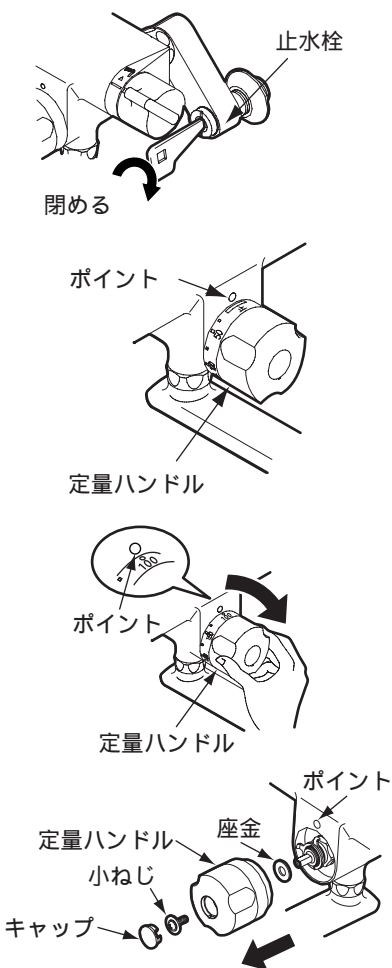
#### シャワー開閉ハンドルをラインの位置まで戻す。

水が止まります。



## 最大設定量の調節

定量ハンドルの最大設定量を目盛り250（約250L）に設定していますが、最大目盛り300（約300L）まで設定できます。  
また、最大設定量を調節しておく大変便利です。  
設定量を調節する前に、実際に浴槽へ湯または水をためて適量を確認し、次の要領で調節してください。

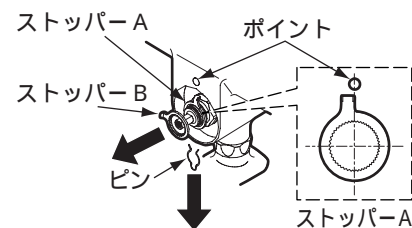


1 止水栓または元栓を閉める。

2 定量ハンドルの目盛りがポイント位置で「止」になっていることを確認する。

3 定量ハンドルの目盛り「100」をポイントに合わせる。

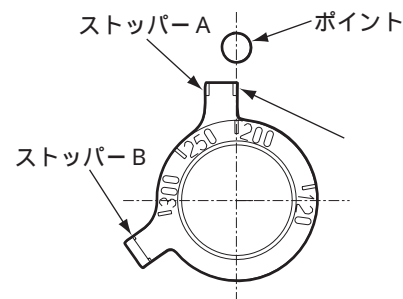
4 キャップ・小ねじを外し、定量ハンドル、座金を外す。



5 ピンを抜いて、ストッパーBを外す。

このときストッパーAは外さないでください。もし外れた場合は、ポイントに対して図のように合わせて入れてください。  
本体に突起合わせのラベルを貼り付けている商品は、ストッパーAをラベルの位置に合わせて入れてください。

<約200Lに合わせた場合>



6 ストッパーBを適量にセットする。

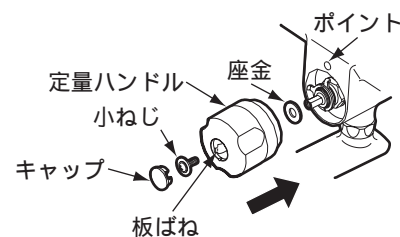
ストッパーBの数字はおよその湯量(L)を示します。数字は50単位になっていますが10単位の設定が可能です。

ストッパーAの端面とストッパーBの数字を合わせてください。

ストッパーBを120以下にセットしないでください。  
自動止水しなくなります。

7 ピンをはめ、定量ハンドルを取り付ける。

このとき座金を忘れると定量ハンドルが回らなくなることがありますのでご注意ください。  
定量ハンドルをはめ込むとき板ばねが出てくる場合があります。そのときはドライバーなどで元どおりに押し込んでください。



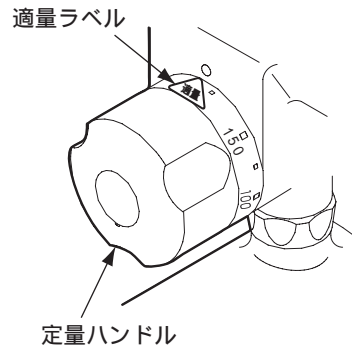
8 止水栓または元栓を開ける。

# 凍結予防のしかた (凍結が予想される場所 でご使用になる場合)

## 豆知識

### < 適量ラベル >

最大設定量を調節しない場合でも、浴槽に湯をためるとき合わせる目盛りの上に適量ラベルを貼っておくと便利です。



このページ下段に添付している適量ラベルを設定量の目盛りの上に貼り付ける。

貼るときは、表面の汚れや水分をよくふき取ってください。

適量ラベル

水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、次の処置を実施してください。

## 一般地用をご使用の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水栓より少量の水を出してください。  
配管部などに保温材を巻いてください。

## 寒冷地用をご使用の場合

### ⚠ 注意

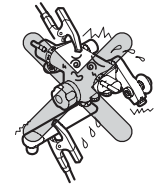


禁止

水抜きコックは、水抜き以外の目的で開けないでください。  
水抜きコックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

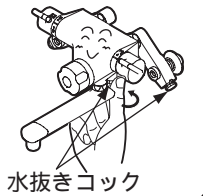


解氷機をご使用の場合、水栓には絶対通電しないでください。  
水栓が発熱し、破損して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

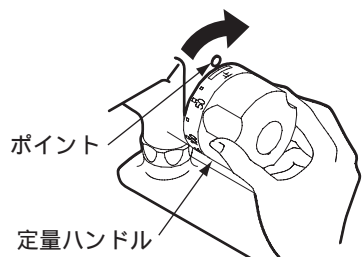
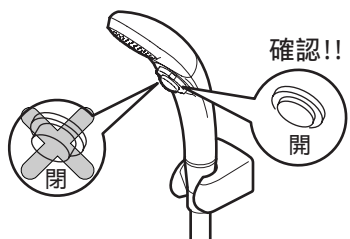


必ず実行

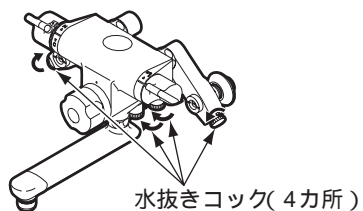
凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。  
部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



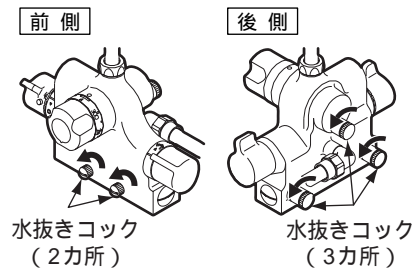
下記の手順に従って水抜きをしてください。




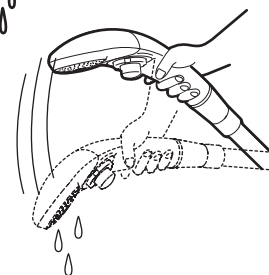
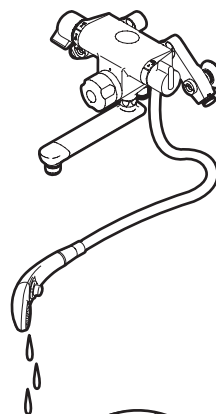
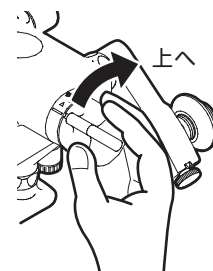
〔壁付きタイプの場合〕



〔台付きタイプの場合〕



1. (クリックタイプの場合)  
シャワーから水を出し、シャワー開閉ボタンが“開”の状態になっていることを確認する。
2. 配管部の元栓を閉め、水抜き栓(配管部)を開ける。
3. 定量ハンドルを  印以上まで回す。
4. 水抜きコックをすべて開ける。

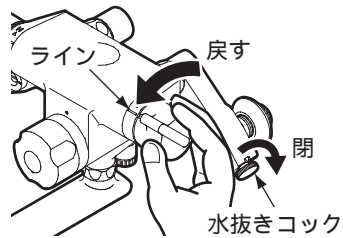


5. 温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回して水を抜く。
6. スパウトから水が出なくなったら、下(水側)いっぱい回して水を抜く。
7. スパウトから水が出なくなったら、シャワー開閉ハンドルを上いっぱい回す。
8. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。
9. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。

水抜き完了後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。

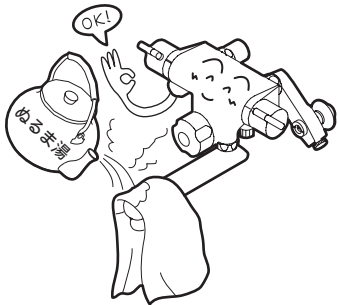
# 日ごろのお手入れ

## 通水を再開する場合



通水を再開する場合は、すべての水抜きコックが閉まっていることを確認し、シャワー開閉ハンドルをラインの位置（水が出ない状態）に戻し、配管部の水抜き栓を閉め、元栓を開けてください。

## 水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合



水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

## 長期間使用しないとき

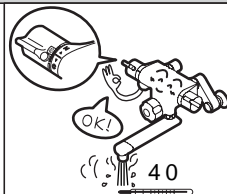
長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

## ⚠ 注意



必ず実行

万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り“40”と吐水温度があっているか確認してください。凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



## ⚠ 注意



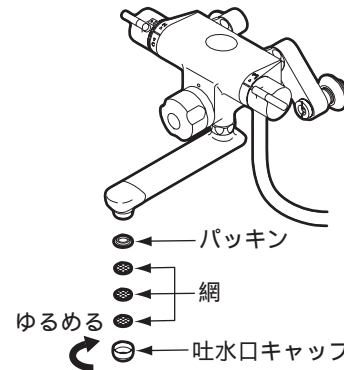
必ず実行

定期的(年2回)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



十分な機能を発揮させるため、また、美しさを保つために日ごろのお手入れをお願いいたします。

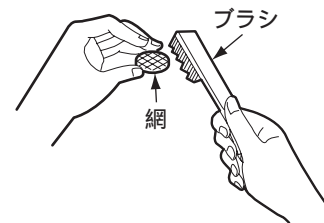
## 吐水口のお手入れ



### 1. 吐水口キャップを回して外す。

外れないときはゴム手袋などをして外してください。

### 2. 吐水口キャップや網に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。



### 3. 吐水口キャップを取り付ける。

分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。



## フィルターのお手入れ

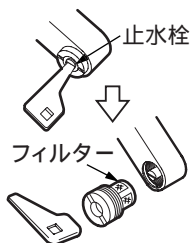
### ⚠ 注意



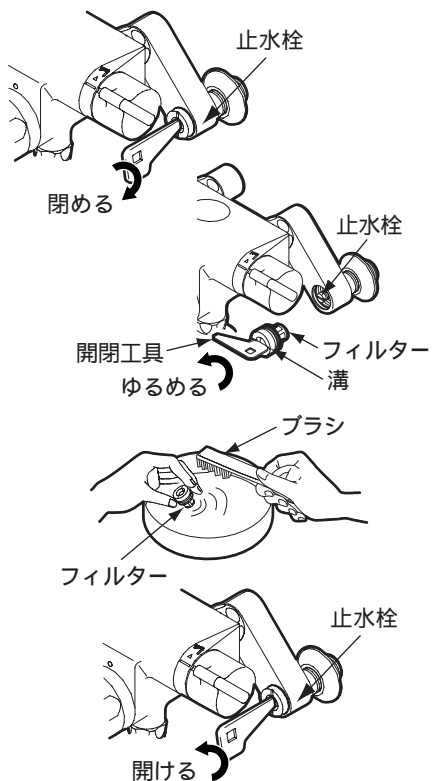
必ず実行

フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、壁付きタイプの場合は止水栓、台付きタイプの場合は元栓を閉めてから行ってください。また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認してください。

湯水が噴き出して、やけどや家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



〔壁付きタイプの場合〕



1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。

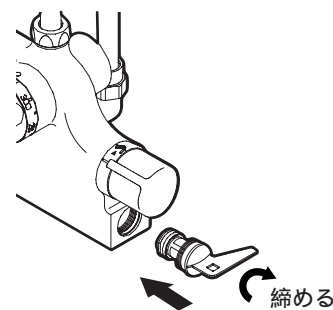
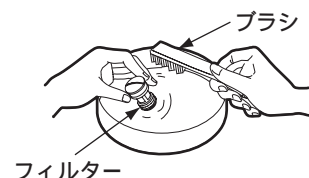
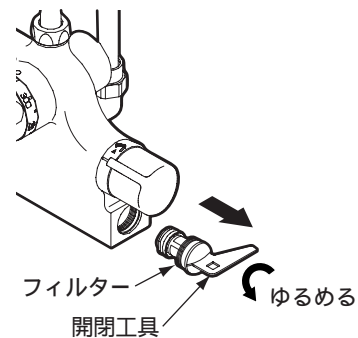
2. 開閉工具を溝に差し込み、フィルターをゆるめて取り出す。

フィルターは、湯側・水側の2カ所あります。

3. フィルターに詰まったごみをブラシなどで取り除く。

4. フィルターを取り付け、止水栓を開ける。

〔台付きタイプの場合〕



1. 元栓を閉める。

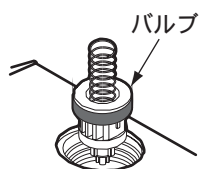
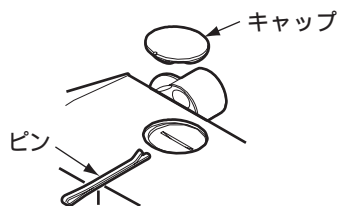
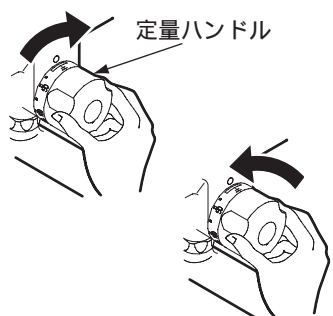
2. 開閉工具を溝に差し込み、フィルターをゆるめて取り出す。

フィルターは、湯側・水側の2カ所あります。

3. フィルターに詰まったごみをブラシなどで取り除く。

4. フィルターを取り付け、元栓を開ける。

## 自動バルブのお手入れ



1 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。

台付きタイプは元栓を開めてください。

2 定量ハンドルを時計回りへ回し、水が出ないことを確認する。

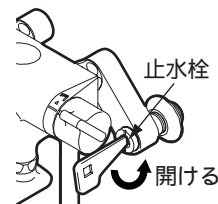
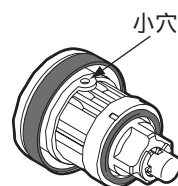
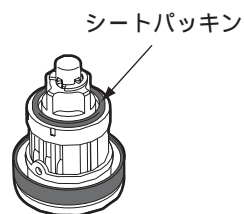
3 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。

4 (壁付きタイプの場合)  
本体上面のキャップをピンなどを使って取り外す。

5 バルブカバーを開ける。

台付きタイプは左側面にあります。

6 バルブ部を取り出す。



7 シートパッキンにごみかみがないか調べる。

8 小穴が詰まっていたら細い針金で掃除する。(荷札の針金など)

9 バルブ部を水洗いしたあと、元どおりにおさめ、バルブカバーを取り付ける。

10 (壁付きタイプの場合)  
本体にキャップを取り付ける。

このとき、切り欠き部が正面になるように確実にはめ込んでください。

11 湯側・水側の止水栓を開ける。

台付きタイプは元栓を開けてください。

# 定期的な部品交換のお願い

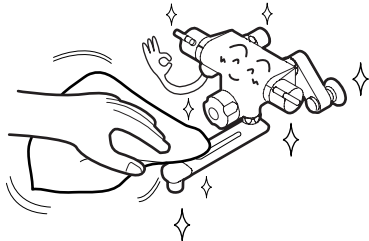
## 布を使用したお手入れ

### 軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

### ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。



## TOTO水あかクリーナーでのお手入れ

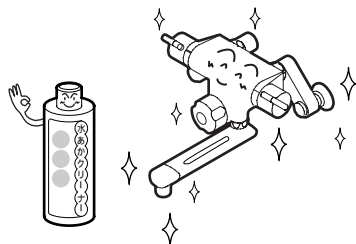
水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としには水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去できる TOTO水あかクリーナーのご使用をおすすめします。

お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーツセンター(電話番号は裏表紙を参照してください)にお問い合わせください。

商品番号: TH735

容量: 260g

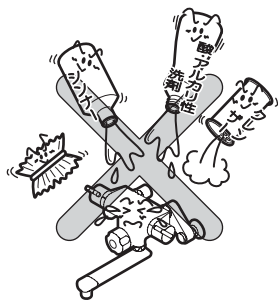
仕様・品番は変更する場合がありますのでご了承ください。



### お願い

水栓の表面を傷つけるものは使用しないでください。

TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤シンナー、ベンジンなどの溶剤、クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンたわし、たわし、ブラシなど



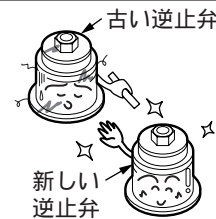
## ⚠ 注意



必ず実行

安全を確保するための逆止弁およびコマパッキンは定期的な交換をお願いします。

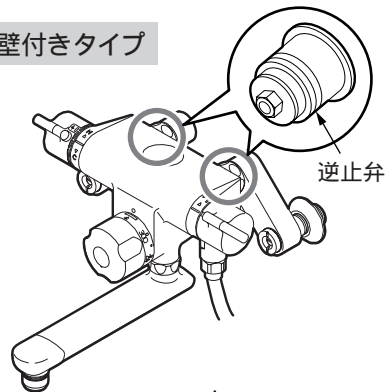
例えば、逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。



安全・快適にご使用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

## 逆止弁の交換

### 壁付きタイプ



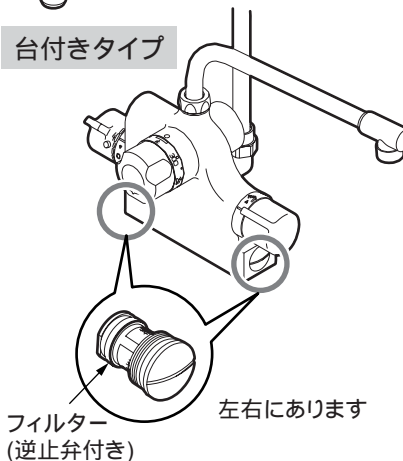
### 交換時期：3年ごと

逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

逆止弁の交換は、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)(電話番号は裏表紙を参照してください)へ依頼してください。

東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合、修理料金は、**技術料** + **部品代** + **出張料** が掛かります。

### 台付きタイプ



フィルター (逆止弁付き) 左右にあります

# 故障かな?!と思ったら

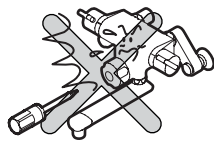
## ⚠ 注意



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

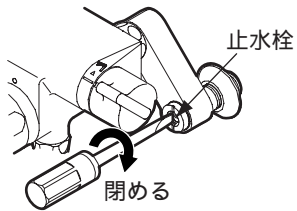
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



次のような場合は、故障ではありません。修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)へ修理を依頼してください。詳しくはアフターサービス(P32)をご確認ください。

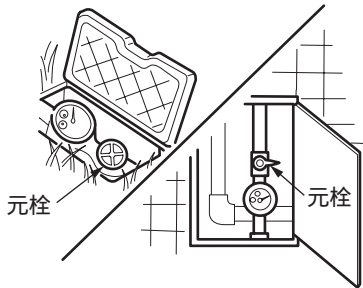
## 緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや、水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓または元栓を閉めてください。



マイナスドライバーを差し込み、止水栓を閉める。

それでも止まらない場合は元栓を閉める。



こんなときは

## 修理を依頼される前に

現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
水が止まらない	シャワー開閉ハンドルは止水位置に合っていますか。(全閉になっていますか。)	シャワー開閉ハンドルを止水位置に合わせる。	13ページ
	定量ハンドルの目盛り「止」がポイント位置とずれていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	13ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	6ページ
	シート部にゴミが付着していませんか。	自動バルブの掃除をする。	25・26ページ
	バルブの小穴が目詰まりしていませんか。	自動バルブの掃除をする。	25・26ページ
	シャワーからの水垂れはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。故障ではありません。	-	7ページ
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	22~24ページ
	ガス給湯機と組み合せてご使用の場合、能力切り替え式のものでは適正能力にセットされていますか。	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする。	
	吐水口・フィルターは凍っていませんか。	吐水口・フィルター部分にぬるま湯をかける。	21ページ
高温しか出ない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
低温しか出ない	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。	
	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ

こんなときは

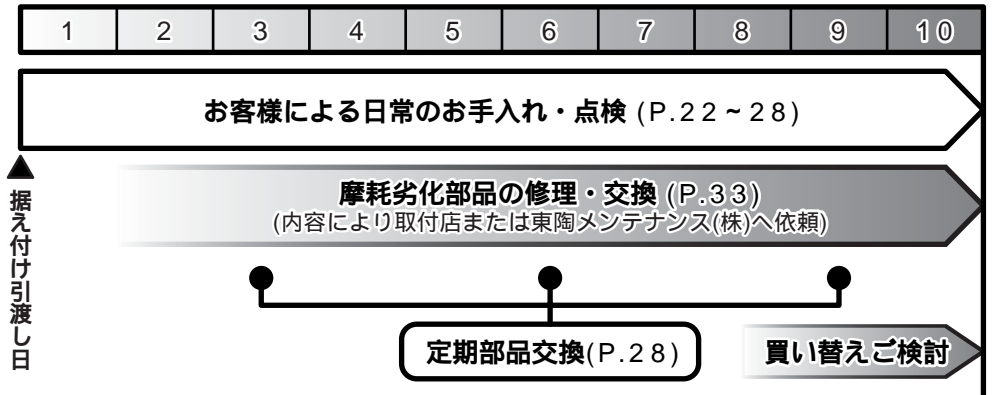


# アフターサービス

修理を依頼される前に			
現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
温度調節がうまくできない	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。	
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	22~24ページ
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。	11ページ
	湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	14ページ
湯量が大きく違う	湯量の設定を間違えていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	15ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	6ページ

止水栓の位置がわからない場合は、「各部のなまえ」(P.8)を参照してください。または、お求めの取付店にお問い合わせください。

使用年数



【修理を依頼する前に「故障かな? !」と思ったら」(P.29)をご確認ください!】

## 保証書 (この説明書のP.34が保証書になっています)

この商品は保証書の内容に従って保証されています。据え付け引渡し日、取付店(または販売店)名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間は保証書をご確認ください。

## 保証について

保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼り付けラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(P.33)をご確認ください。

## 部品の交換について

無料修理により交換された部品・商品は東陶機器(株)の所有となります。

## 補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの)の供給期間は製造中止後10年です。

## 摩耗・劣化する部品の交換

バルブやパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。

摩耗・劣化部品の交換は、お求めの取付店・販売店、または東陶メンテナンス(株)(電話番号は裏表紙を参照してください)へ依頼してください。

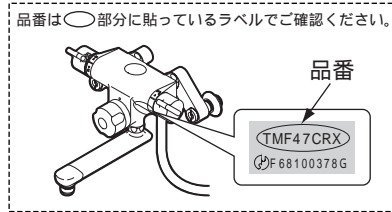
## 修理を依頼されるときは

### 【修理依頼先】

お求めの取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)(電話番号は裏表紙を参照してください)

### 【ご連絡いただきたい内容】

住所、氏名、電話番号  
商品名 品番 購入日  
故障内容、異常の状況  
(どこから水漏れしているかなど)  
訪問希望日



### 【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTOお客様相談室」または「東陶メンテナンス(株)」(電話番号は裏表紙を参照してください)

## 修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品代です。

**出張料** は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

# TOTO®

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。据え付け引渡し日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店(または販売店)、または東陶メンテナンス(株)(フリーダイヤル ☎ 0120-1010-05)に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様
	おところ 〒	
取付店 / 販売店	〒	Ⓜ
	電話	-
据え付け引渡し日	年	月 日

品番	TMF47型・TMG47型 TMJ47型・TMJ48型
保証期間	据え付け引渡し日から2カ年
用途	一般住宅浴室用

### お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、据え付け引渡し日、取付店(または販売店)名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。

- (1) 上記用途以外で使用した場合の不具合。
- (2) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
- (3) メーカーが定める施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
- (4) 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する当該商品の不具合。
- (5) 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
- (6) 海岸付近、温泉地などの地域における強い腐食性の空気環境に起因する不具合。
- (7) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
- (8) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
- (9) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)および外部ノイズなどに起因する不具合。
- (10) 乾電池・コマパッキンなどの消耗による不具合。
- (11) 日常のお手入れ箇所(フィルターなど)や水抜栓などのリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
- (12) 砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
- (13) 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことにより起因する不具合。
- (14) 寒冷地仕様ではない場合の凍結に起因する不具合。
- (15) 本書の提示がない場合。
- (16) 本書にお客様名、据え付け引渡し日、取付店(または販売店)名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について

無料修理により交換された部品・商品は、東陶機器(株)の所有となります。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

東陶機器株式会社